

# 企業年金ニュース 第69号

最終号

平成 21 年 6 月

企業年金ニュースは平成 15 年からおよそ 6 年間にわたり企業年金制度を中心とした情報を提供する場として発信してまいりましたが、月一度の発行であったため、十分な情報量をお届けできませんでした。そこで、情報量の充実を図る為、平成 21 年 3 月に新たな情報発信の場としてアイ企業年金基金のホームページを開設いたしました。今後はホームページの内容を、よりいっそう充実させ、皆様によりリアルタイムに情報を発信いたします。

【アイ企業年金基金のホームページアドレス <http://www.aikikin.or.jp>】

## 企業年金ニュースのあゆみ

企業年金ニュースは私ども基金がまだ企業年金準備室の時代だった平成 15 年 10 月に第 1 号を発行させていただきました。

発刊当初より、税制適格退職年金制度の廃止や、退職給与引当金の制度廃止、中退共の予定利回りの低下など退職金を取り巻く環境の変化が起こっており、特に税制適格退職年金制度の廃止については、現在の退職金制度を変更しなければならないため、適年導入事業所にとっては大きな課題となっていました。 (右図参照)

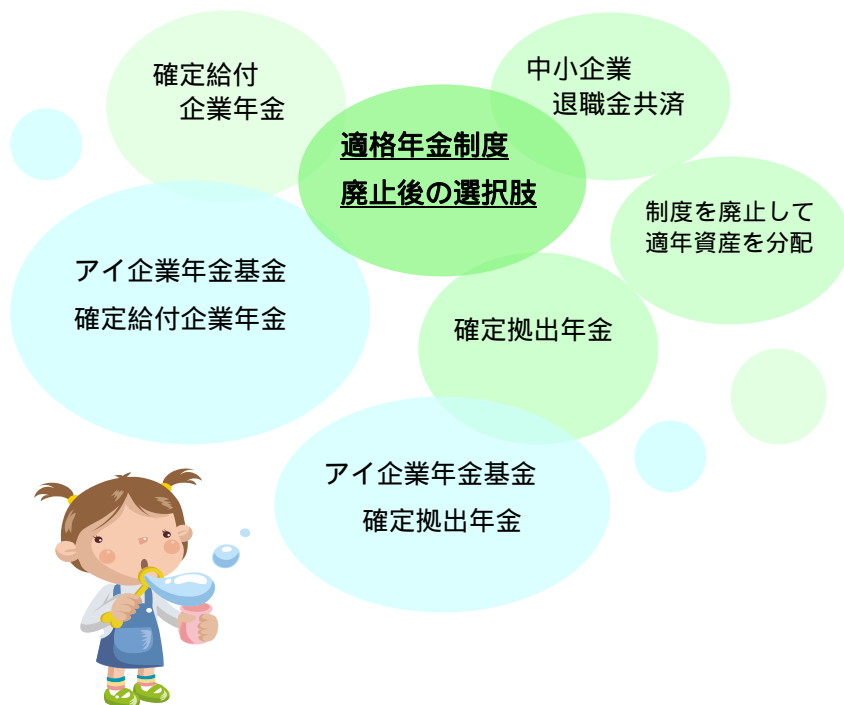
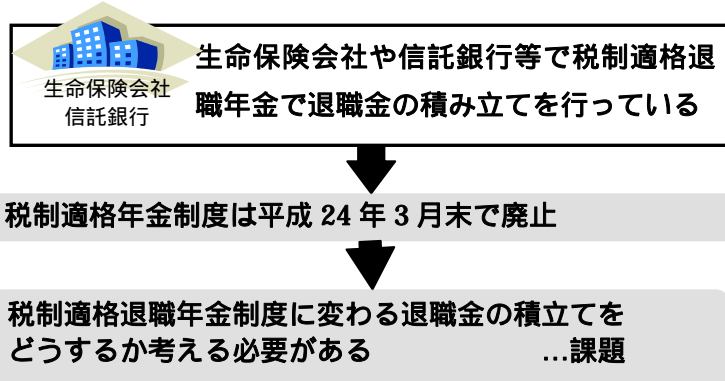
こうしたことから、企業年金ニュースでは、税制適格退職年金の代わりとなる制度(『確定給付企業年金(DB)』『中小企業退職金共済』『確定拠出年金(DC)』『制度を廃止して適年資産を分配』)の紹介や各制度のメリット・デメリットを提示してまいりました。

また、平成 18 年 4 月にアイ企業年金基金を設立した後は、アイ企業年金基金の確定給付企業年金・確定拠出年金制度の紹介や、無料で退職金コンサルティング業務の紹介等もしてまいりました。

皆様のお力添えもあり、アイ企業年金基金は加入企業数も着々と増え、現在では新聞や、年金情報雑誌にも取り上げられるなど少しずつ注目されるようになってきました。(裏面をご参照ください)

企業年金ニュースは今月号をもって廃刊となります。今後、ホームページ上へと形は変わりますが、引き続き皆様のお役に立つ情報の発信に努めていきます。

【図】適年導入事業所にとっての課題





## 雑誌等掲載情報

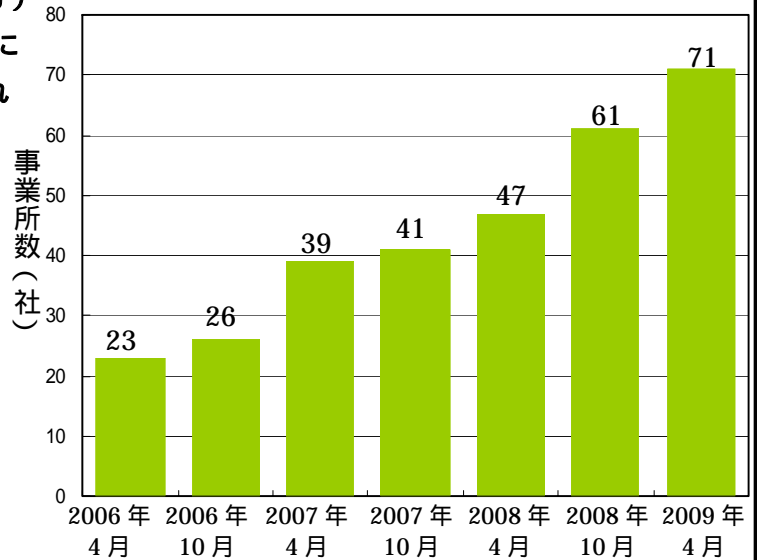
格付投資情報センター発行（日本経済新聞社編集協力）の年金情報（2009.5.18 No.503 プランスポンサー）に「アイ企業年金基金の加入企業増大」の記事が掲載されました。

平成20年10月加入が14社、平成21年4月加入が10社と2期連続で2ケタの加入企業数となりました。

基金の資産残高も20億円に達し、急速に積立金額が増えました。最近では中小企業退職金共済（中退共）の利回り低下や、退職金引当金に対する非課税枠の廃止の影響を受けて、それらの受け入れ先として同年金基金を選択するケースも出ており、今後ますます企業数は増加することが見込まれています。

年金情報（2009.5.18 No503）参照

アイ企業年金基金の加入事業所数の推移



日本経済新聞 関東版（2009.5.25）に先日、当基金の常務理事が参加した『適格退職年金移行推進フォーラム』の内容が掲載されました。

《適格退職年金の廃止にともなう制度移行の期限まで3年足らずとなる中、企業年金への迅速な制度移行を目指し、その移行方法や事例などを紹介。さらに企業年金の持つ重要性や将来のあり方について、各分野の専門家による活発な意見交換が行われた》と掲載されました。

日本経済新聞 関東版（2009.5.25）抜粋

### 企業年金ニュースのバックナンバーがダウンロードできます。

これまでの企業年金ニュースのバックナンバー（第1号～第69号）をアイ企業年金基金のホームページからダウンロードすることが可能です。

退職金のことならおまかせください！

- 掛金は全額 損金算入 ができます
- 税制適格年金（適年）からの移行ができます（年金資産の持込ができます）
- 退職金の現状分析から提案まで、新しい退職金制度の設計をお手伝いします
- コストメリットとノウハウの共有で中小企業の退職金を全面的にサポートします
- 製造業界を中心に複数の企業で運営し、愛鉄連がお手伝いいたします
- 「確定給付企業年金」と「確定拠出年金（日本版401K）」の2つの制度を併せ持つ、日本ではじめての制度（企業年金基金）です

事務局からのお知らせ

- 基金のしくみ
- 積立プランのご紹介
- 適格年金からの移行
- その他
  - 各種年金制度
  - 企業年金ニュース(バックナンバー)
  - お問い合わせ

ここからダウンロードすることができます。

長い間、ご愛読いただきまして誠に有難うございました。引き続き、退職金制度に関する情報発信はホームページより行います。是非、ご利用ください。

今日、定期券を紛失しました。泣けますね。以前は定期入れに入れて改札でも駅員に見せるだけでカード自体は出さずに通れたのですが、今は必ず自動改札を通さないとイケないらしく、わざわざ財布から定期券を出して通さなければならない煩わしさがついて回るようになりました。次第に面倒になったため、定期券を裸のままスーツのポケットに入れるようになり、紛失率がグンとアップ！いい改善策を模索中です。（尚）



## アイ企業年金基金

〒453-0804 名古屋市中村区黄金通 1-18  
愛鉄連厚生年金基金会館 7 階

TEL・FAX: 052-481-5608

E-mail: aikikin@mediacat.ne.jp

窓口開設時間：平日（祝日を除く）9時～17時

企業年金ニュースのバックナンバーはアイ企業年金基金のホームページに掲載されています。

【アイ企業年金基金のホームページアドレス <http://www.aikikin.or.jp>】